



京都大学 アカデミックデイ2014 (9月28日・時計台記念館)

音楽から地域を語れるか？

地域研究統合情報センター 福田 宏

① 各国・各地域特有の音楽

- 日本やロシアの民謡、ラテン音楽、アフリカ音楽 etc.
- チェコと言えば？ → スメタナの《我が祖国》とか
ドヴォジャークの《新世界》とか...
- では、音楽から地域や国を知ることができる？

② スメタナの意外な真実！？

- スメタナはチェコ語が苦手だった（ドイツ語が得意）
- スメタナの音楽はチェコ的だと思われていなかった！
ドイツかぶれとか、ヴァーグナーの亜流とか...
- あの《モルダウ》の旋律はチェコ以外にも存在した？
イスラエル国歌
マザーグースの歌《小さな実のなる木》

④ 音楽の化学反応－地域の違いは存在するか？

- 「新世界」におけるドヴォジャーク
- アメリカの音楽創出をチェコ人に依頼？
- 先住民と黒人の音楽はアメリカ的か？
- 交響曲第9番《新世界より》はアメリカ音楽か？



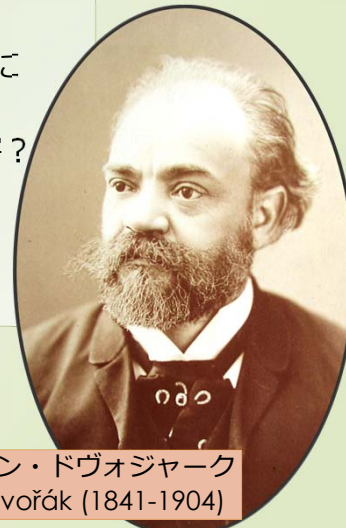
ベドジフ・スメタナ
Bedřich Smetana (1824-1884)



ハプスブルク帝国
(1900年頃の中央ヨーロッパ)

③ ドヴォジャークの隠れた一面

- ハト好き・鉄道オタクだった
- 貧しい家庭からの立身出世 → アメリカの音楽院院長に
とはいつつ、精神的に問題を抱えていた
一人で街を歩けない... 広場恐怖症とパニック障害？
- 激烈なスメタナ＝ドヴォジャーク論争
どちらが本物のチェコ音楽なのか？
進歩と退化、洗練と素朴、交響曲と民謡 etc.



アントニン・ドヴォジャーク
Antonín Dvořák (1841-1904)